

心理福祉学科

科目 Pick Up



社会老年学

人の老いと社会の高齢化を理解し、よりよい高齢社会の実現を目指す



個人の老いのプロセスと人口の高齢化のメカニズムについて学びます。その上で、世界一の長寿・高齢社会となった現代の日本社会で、豊かな高齢期を実現するための方策について考えます。



子ども家庭論

学生が関心を持つテーマを通して児童福祉に関する問題意識を明確にする

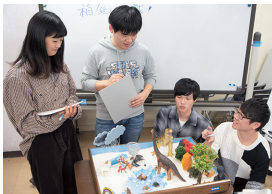


児童福祉の領域で、学生が関心を持つテーマを取り上げます。学生個人の調査・発表と、全体での議論を通して、児童福祉の理念や制度について考え、問題意識を明確にすることを目的に学びます。



心理的アセスメント

人のこころを理解する
心理検査法や支援法の基礎を身につける



人のこころの状態を理解するための心理検査を、講義と実習で学びます。基本的な検査法や検査結果の解釈法、検査報告書の作成法、さらに検査結果に基づく支援法の基礎を身につけます。



心理演習

体験を通して学び、
姿勢や倫理も含めて学習する



サポートが必要な人に、そのニーズを理解し自分の立場から何ができるのか、誰とどう連携するのか、支援方法や計画の立て方を、事例検討、グループ学習などを通して学んでいきます。



心理学実験

さまざまな実験を行いながら
心理学のエッセンスを学ぶ



心理学において“実験”は重要な位置づけにあります。心理学用の実験器具を用いて自ら実験を行い、レポートにまとめるというプロセスを通して、心や行動を捉える方法の理解を深めています。



高齢者福祉論ゼミ

高齢者福祉に関する社会問題や課題を考え
学生が個別に追究するテーマを探す



高齢者福祉に関わる社会問題や課題について理解し、個々の学生が資料で調べた内容を発表し、受講者全員で議論します。その中で、一人ひとりが高齢者福祉について関心のあるテーマと向き合う姿勢を養います。

学びの実感

積極性を早くから発揮し 学びの質を高める挑戦を継続

1年次に海外心理福祉研修に参加するなど、早くから学びへの積極性を発揮しました。ゼミに参加してから、研究室を訪ねてくる時は、いつも学びの質を高めるための相談ばかり。常に挑戦を続ける学生です。

心理福祉学科
小沼 聖治 准教授



先生からのきっかけを活かし 自分で考え行動を起こす

海外心理福祉研修を引率した小沼先生は、学生が行動を起こすきっかけを作ってくれます。大学周辺のバリアフリーを探すフィールドワークを提案した時も、コロナ禍の状況に配慮しながら、学生主導での実行を支えてくれました。

心理福祉学科 4年
神奈川県 白鷺女子高等学校 出身
渡嘉敷 愛理